
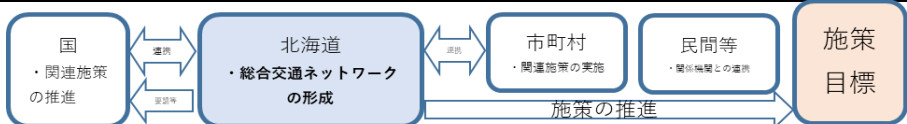


令和3年度 基本評価調書①		所管部局	総合政策部	所管課	交通企画課、航空課	
施策名	交通ネットワークの充実			施策コード	02043	
政策体系(中項目)	多彩な地域資源を活かした世界が憧れる観光立国北海道の更なる推進			政策体系コード	2(6)A	
知事公約	C0006, C0084, C0109, C0117 C0120, C0147, C0148, C0153, C0154	総合戦略	A2311, A4421, A4411 A4422, A4423	国土強靱化	B4411, B4412, B4441, B4442 B4443, B4451, B4452	事務事業数 36
SDGs				総合判定	やや遅れている	

### 【1 Plan】

施策目標	北海道新幹線の札幌開業に向けた整備促進や新千歳空港の国際拠点空港化の促進をはじめ、鉄道、航空路、航路といった基幹的な交通ネットワークや交通基盤の充実を図るとともに、冬期間を含めた道外との安定的な高速交通アクセスを確保するなど、戦略的な交通ネットワークを構築する。					
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>北海道新幹線の更なる利用促進のための取組を展開し、あわせて新幹線効果の全道波及に向けて交通ネットワークの充実・強化等の取組を進めるとともに、札幌までの早期完成に向けて取組を精力的に進める必要がある。</li> <li>コロナ禍により一部路線の減便・運休が続いている道内空港を発着する航空路線の回復へ向け、戦略的な誘致活動の展開など、空港運営事業者や経済界等と連携した取組を進める必要がある。</li> </ul>					
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>北海道新幹線の新幹線効果の全道波及に向け、来道者の道内周遊を促進するため、交通ネットワークの充実に資する取組を推進する。</li> <li>離島航空路への運航に係る補助や利用率向上に向けた利用促進策調査、道内地方空港への新規路線誘致事業、国際航空定期便再開に対する支援、アウトバウンド促進、空港整備事業、新千歳空港の24時間運用のための空港周辺地域に対する環境対策等を実施。</li> </ul>					
予算額(千円)	R3	28,458,350	R2	31,142,241	R1	19,896,727
施策のイメージ						

### 〈成果指標の達成状況〉 ⇒ 3つ以外の指標は、補助指標調書に記載

指標名①	増加	円	H29年度	H30年度	R元年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
観光消費額(道内客1人当たり)	目標値		13,781	13,854	13,927	15,000	96.4%	B
	実績値		-	-	13,432	-		
設定理由	旅行目的や旅行形態の多様化・個性化に対応した質の高い観光地づくりの状況を図るため							
分析(主な取組と成果)								
新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しながら、国際航空路線の再開や国内航空路線の利用拡大に向けた取組等が必要であるとともに、道外との交流人口拡大のため、新幹線を利用した道内周遊を促進する取組を進める必要がある。								

指標名②	増加	円	H29年度	H30年度	R元年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
観光消費額(道外客1人当たり)	目標値		73,804	74,536	75,268	79,000	94.0%	B
	実績値		-	-	70,773	-		
設定理由	旅行目的や旅行形態の多様化・個性化に対応した質の高い観光地づくりの状況を図るため							
分析(主な取組と成果)								
新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しながら、国際航空路線の再開や国内航空路線の利用拡大に向けた取組等が必要であるとともに、道外との交流人口拡大のため、新幹線を利用した道内周遊を促進する取組を進める必要がある。								

指標名③	増加	円	H29年度	H30年度	R元年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
観光消費額(外国人1人当たり)	目標値		122,753	148,502	174,251	209,000	79.6%	D
	実績値		-	-	138,778	-		
設定理由	旅行目的や旅行形態の多様化・個性化に対応した質の高い観光地づくりの状況を図るため							
分析(主な取組と成果)								
新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しながら、国際航空路線の再開や国内航空路線の利用拡大に向けた取組等が必要であるとともに、道外との交流人口拡大のため、新幹線を利用した道内周遊を促進する取組を進める必要がある。								

令和3年度 基本評価調書②	施策名	交通ネットワークの充実	施策コード	02043
---------------	-----	-------------	-------	-------

【2 Do&Check】

成果指標	指標名	前々年度	前年度	評価年度	評価年度目標値	指標判定
成果指標	観光消費額（道内客1人当たり）	-	-	13,432	13,927	B
	観光消費額（道外客1人当たり）	-	-	70,773	75,268	B
	観光消費額（外国人1人当たり）	-	-	138,778	174,251	D
目標（指標）の達成状況	<p>・新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しながら、国際航空路線の再開や国内航空路線の利用拡大に向けた取組等が必要</p> <p>・鉄道・運輸機構が実施する札幌開業に向けた整備は着実に進んでいるものの、北海道新幹線の乗車率は新型コロナウイルスなどの影響により低迷しており、道外との交流人口拡大に向けたさらなる取組が必要。</p>				指標総合判定	C
連携状況	<p>・「道北離島航空路線協議会」及び「道南離島航空路線協議会」などを開催し、国や航空会社と連携して、離島航空路線の維持・活性化を図っている。</p> <p>・北海道エアポート株式会社と連携し、運休している国際定期路線の再開誘致を図っているほか、北海道海外旅行促進事業実行委員会と連携し、就航路線の国・地域に対する道民のアウトバウンド喚起の事業を実施している。</p> <p>・青森県やJR北海道等と共同で北海道新幹線のPR活動を実施するなど、関係機関との連携を図っている。</p>				連携判定	○
緊急性優先性	<p>・R4年度国費要望にて、「北海道新幹線の整備促進」、「航空ネットワークの維持・拡充及び利便性向上のための施策の推進」、「新千歳空港等の機能強化」等を要望している。</p>				緊急性優先性判定	○
総合判定の根拠	<p>・国や航空会社等と連携した取組を行っているが、感染症の影響により、国際航空路線は全便運休となっている。国内航空路線の利用者数についても、R2年度以降減少している状況。</p> <p>・道内観光を支える交通ネットワークの充実のため、関係機関等と連携し着実に取り組みを進めているものの、道外との交流人口のさらなる拡大のため継続して取り組む必要がある。</p>				総合判定（一次評価）	やや遅れている

翌年度に向けた対応方針	対応方針番号	内容
	①	新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しながら、国際航空路線の再開や国内航空路線の利用拡大に向けた取組等を関係機関と連携し実施する。
	②	道外との交流人口拡大のため、新幹線を利用した道内周遊を促進する取組を進める。
③		

〈二次政策評価〉

前年度二次評価意見	対応状況 (R3.3時点)
R3年度二次政策評価	交通ネットワークの充実のため、鉄道、航空路、航路といった基幹的な交通ネットワークや交通基盤の充実を図るとともに、冬期間を含めた道外との安定的な高速交通アクセスの確保などは重要であり、戦略的な交通ネットワークを構築する取組の一層の推進を検討すること。

【3 Action】

二次政策評価への対応	<p>○北海道新幹線の開業効果の維持・拡大に向けた北東北地方との連携強化や、交流人口拡大の取組を継続して実施し、北海道新幹線の更なる利用を推進する。</p> <p>○地域と連携しながら、定期便やチャーター便の誘致等、航空ネットワークの維持・拡充に向けた取組を引き続き進めるとともに、地域や空港の利用促進協議会が行う新たな航空需要創出の事業等と連携しながら、地域と一体になった取組を進める。</p>
R4施策の方向性	<p>○新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しながら、地域と連携した定期便やチャーター便の誘致等、航空ネットワークの維持・拡充に向けた取組を引き続き進めるとともに、地域や空港の利用促進協議会が行う新たな航空需要創出の事業等と連携しながら、地域と一体になった取組を進める。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策に努めながら、北海道新幹線を利用した道内周遊を促進するため、モニターツアーの実施等の取組を進める。</p>